

開館30周年を迎えました！ Library 30th Anniversary!~



皆さまに支えられ30年

これからも愛される

図書館をめざして



日頃より町立図書館をご利用いただき、ありがとうございます。おかげさまで今年8月に開館30周年を迎えることができました。

現在の場所に図書館が設置される以前、町の図書館機能を担っていたのは昭和32年に始まった県立図書館の移動図書館、49年に誕生した「ニュータウン文庫」、50年に設置された「やまびこ図書館」でした。昭和53年に制定された図書館設置条例により中央公民館内に図書コーナーとして「鳩山町立図書館」が設置されました。

その後、町民の皆さまのニーズの高まりに添えるべく、平成元年に現町立図書館が開館しました。開館まもない平成2～6年には、「人口1万5000人以上の町村立図書館部門」において、「1人当たりの貸出冊数全国1位」という記録を5年連続で達成し、全国的にも利用率の高い図書館となっております。

インターネット等の普及による図書離れが進んでいる現在も、町立図書館での貸出冊数は県内上位で、読書への意欲が高い町ではあります。が、開館当初と比べると貸出冊数は減少傾向にあります。

「最近本を読んでいるいない」、「どんな本を読めばいいかわからない」という方は、図書館でおすすめている本や、資料探しのお手伝いをするレファレンスサービスのほか、利用者が読んで面白かった本を紹介しているコーナーなどもありますので、本選びの参考にしてみたいかがでしょうか。

今後も皆さまが気軽に利用できる図書館となれるよう、職員一同努めてまいります。

今後の図書館 イベント情報

今後、図書館で開催される事業の情報をお知らせいたします。

ぜひ、ご参加ください。たくさんの方のご来館をお待ちしております。

■古典文学講座（松尾芭蕉「奥の細道」）

■日時 「講座」9月4日、10月2日、11月6日（全て水曜日）午後2時～4時

「文学散歩」10月8日（火）

※10月8日（火）は文学散歩のため一日バスで外出となります。

■場所 町立図書館・視聴覚室

■講師 沖田澄江先生

■費用 講座は無料。文学散歩は実費をご負担いただきます。

■対象 町内在住・在勤・在学の方

■定員 30人（申込順）

■申込 8月7日（水）～21日（水）の間、町立図書館カウンターまたは電話（☎29615660）申込。

鳩山町立図書館 ~Hatoyama Town



町民の方にボランティアで季節の飾り付けをしていただいています。

素敵な飾りが館内を明るくしてくれます。他にもたくさんありますので、ぜひ直接見に来てください。



ご存知ですか？ 図書館の設備・サービス

資料の
お取り寄せができます

図書館の利用者から「探している本が無い」という声を耳にすることがあります。多くの皆さまのニーズに応えられるように、たくさんの本をそろえるにはお金だけでなく、本を保管するためのスペースも必要になります。

そこで、始まったのが「相互貸借制度」です。県立及び市町村立図書館に所蔵があれば、取り寄せて借りたり、閲覧できます（※一部取り寄せ不可や利用制限付きの図書あり）。また、司書の選書のうえ、ご希望の本を購入することもあります。町立図書館にお探しの本がないときは、ぜひリクエストサービスをご活用ください。



学習机は、自由に利用いただけます。見つけた本をじっくり読みたい方や、静かな空間で勉強したい方におすすめです。



館内にあるビデオなどを見ることができます。

メールでの
お知らせ通知ができます

図書館にある本の予約やリクエストで取り寄せた本が届いたことを、スマートフォン・パソコン・携帯電話にメールでお知らせするサービスがあります。「自宅を留守にすることが多い」「介護や子育てで忙しく、なかなか電話に出られない」「不審電話に警戒している」といった方はぜひこのサービスをご活用ください。

なお、メール通知サービスをご利用いただくには、図書館ウェブサービス用のパスワードを発行するための手続きが必要となります。お手数ですが、メール通知サービスをご希望の方は、図書館窓口までお越しください。

■短歌講座

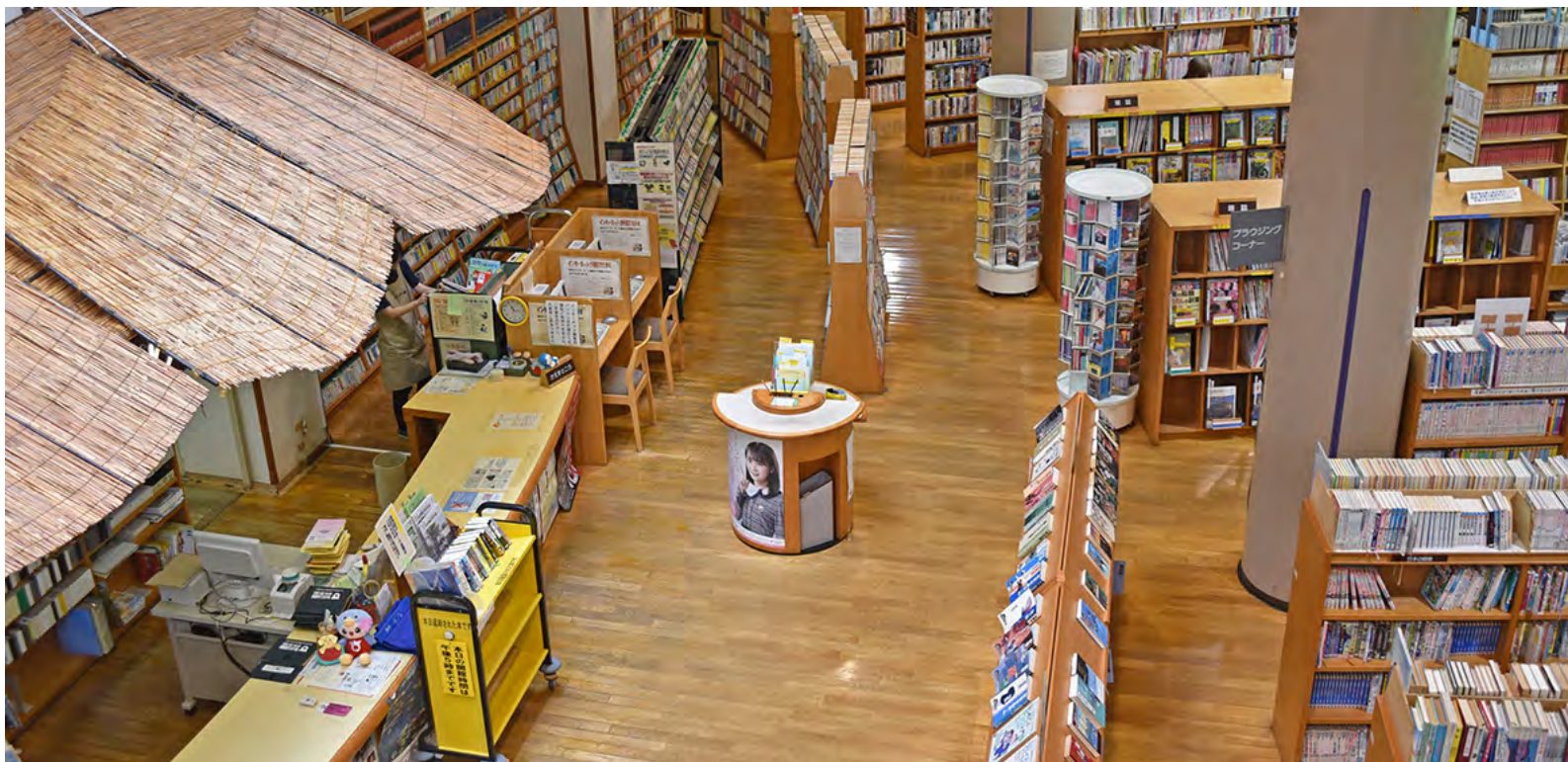
- 日時 9月18日、10月16日、11月20日、12月18日(全て水曜日)午後2時〜4時(無料)
- 場所 町立図書館・会議室
- 講師 利根川發先生
- ※対象・定員・申込は、古典文学講座と同じです。

■鳩山町立図書館開館30周年記念事業「読み聞かせ講座」

- 日時 9月21日(土)、29日(日)午後1時30分〜3時30分(無料)
- 場所 町立図書館・視聴覚室
- 講師 神原和子先生
- 対象 町内在住・在勤・在学の方
- 定員 20人(申込順)
- 申込 8月20日(火)〜9月20日(金)の間、町立図書館カウンターまたは電話(☎29615660)申込。

その他図書館主催のイベントは、前月号同様のページでお知らせしています。

- シネマホール 18ページ「余暇よかDays」内に掲載。
- こどもおはなし会、うさぎちゃんの部屋 27ページ「子育てカレンダー」内に掲載。



Interview Report

町立図書館を長年支え続けているボランティア団体の皆さんにインタビューをし、お話しを聞いてきました



朗読会「窓」は、平成7年に発足し、ふれあいセンターでの「朗読と音楽のつどい」、図書館での「おはなしと朗読の会」のほか、亀井小学校・今宿小学校、学童保育室、銀河鉄道「90」での読み聞かせです。

今も広い範囲で活動をされている「窓」の皆さんですが、活動の中で大切にしていることを伺うと、「朗読が好きでいる

最近の活動状況は、ふれあいセンターでの「朗読と音楽のつどい」、図書館での「おはなしと朗読の会」のほか、亀井小学校・今宿小学校、学童保育室、銀河鉄道「90」での読み聞かせです。

加入したのだそうです。

現在のメンバーは、合計11人です。メンバーのほとんどが、朗読会「窓」の朗読を聴きに来て「自分もやってみたい」と思い加入したのだそうです。

22年経った今でも活動は続いており、今年の7月で44回目の開催となりました。



朗読会「窓」

朗読会「窓」の皆さん

朗読会「窓」の皆さんから
朗読会「窓」では、新規メンバーを随時募集しています。

朗読に興味がある方は私たちと一緒に活動してみませんか？朗読を聴いたことがない方は、ぜひ一度聴きにきてみてください。

10月26日(土)午後1時に、ふれあいセンター小ホールで「朗読と音楽のつどい」を開催しますので、ぜひお越しください。

朗読会「窓」は、平成7年に発足し、ふれあいセンターでの「朗読と音楽のつどい」を主な活動としていました。その後、図書館で朗読会をやっていたとお話しがあり、平成9年から毎年春と夏に「おはなしと朗読の会」を行うようになりました。22年経った今でも活動は続いており、今年の7月で44回目の開催となりました。

現在のメンバーは、合計11人です。メンバーのほとんどが、朗読会「窓」の朗読を聴きに来て「自分もやってみたい」と思い加入したのだそうです。

「朗読が好きでいることを伺うと、「朗読が好きでいることはもちろんですが、ただ好きなかだけではないか」と思っています。私たちの朗読を聴きに来ていただいている人たちに、私たちにできる最大限の朗読を聴いてもらえるよう感性を磨き、しっかりとした発声を心がけ、自信をもって聴き手に伝えることのできる朗読をするために日々努力する気持ちを今でも大切にしています。」と答えてくれました。

毎回心がけていることは何か尋ねると、「聴き手にお話しの情景を頭の中でイメージしてもらるように読むこと、私たちの朗読を聴きにくれた人、一人ひとりに話しかけるような読み方を心がけながら朗読しています。」と、常に聴き手へ配慮した読み方をしよう工夫されていることがわかりました。そして、「現在行っている活動を今後も続けていき、今以上に聴き手の方へお話しし面白さを伝えられるよう頑張って活動していきたい」とも話していました。

人形劇サークル『トムテ』



人形劇サークル「トムテ」の皆さん

石坂幼稚園の役員は、代々人形劇をやることになっており、当時役員だったメンバーに、町立図書館職員から「図書館でも人形劇をやってくれませんか」との話があったため、幼稚園で人形劇をやったメンバーで平成4年に結成されました。のちに、新しいメンバーを迎えて、現在は合計6人で活動しています。

最近ではメンバー同士の時間がなかなか合わず、以前と比べると活動は減ってきているようですが、毎年7月に町立図書館で発表する人形劇は今でも続いています。

人形劇サークル「トムテ」の皆さんに、人形劇をやるにあたってレッスンなどを受けたのか何うと、「始めた頃の役員をやっていたころに、幼稚園の園長先生から指導を受けていて、そこで大まかな内容を教わりました。その後、トムテとしての活動が始

まってからは、メンバーの中に人形劇を教わっていた人がいたので、その人を中心にみんなで試行錯誤しながら練習をしています。プロの人形劇を見て研究し、自分たちにはない技術などを学び、それを踏まえたうえでうまくなるための練習をしました。」とのことでした。

人形劇をやっていてよかったなと思った瞬間はあるか何うと、「発表に向けて練習をしていると、失敗が続いたり、思うような動きができなくて不安になります。本番では練習の成果以上の力を発揮することができ、発表が終わった後は、言い知れない達成感を味わうことができます。その後は、いつもまたやりたいなという思いが湧いてくるんです。それが今まで続けてこられた秘訣なのかもしれません。そして人形劇をやっていてうれしかったことは、町内の小学校で発表した時です。その日に発表した劇は、内容が漠然としていて小学生には少し難しいものだったと思うのですが、しっかり最後まで見てくれて、私たちの劇を見て、思ったことや感じたことを感想文に書いていただいたときは、とてもうれしかったです。」と話していました。

人形劇サークル「トムテ」の皆さんから

私たちの劇をまだ見たことがないという人は、一度見に来てください。ご家族と一緒に見に来てもらえるとうれしいです。

新規メンバーも随時募集中です。興味のある方はご相談ください。

おはなし『ぶらんこ』



おはなし会に参加した親子と「ぶらんこ」の皆さん

町立図書館が開館するにあたり、町で読み聞かせボランティアを育成する講習会が開かれました。その時の受講生が有志で集まり、平成元年に「読み聞かせボランティアグループ」を結成し、このグループが後に、「おはなし「ぶらんこ」」になりました。

現在のメンバーは6人で、最近の活動状況は、町立図書館で月2回開催しているおはなし会と、12月に開催しているクリスマス会での人形劇です。

町立図書館で主に活動をされている「ぶらんこ」の皆さんですが、読み聞かせの魅力について何うと、「本は人生の中で経験する楽しいことの一つだと思えます。その楽しさを伝えられるように読み聞かせを続けています。本の楽しさを次

の世代へ伝える橋渡しができるのは読み聞かせの魅力だと思います。また、読み聞かせを聞いてくれる人たちの楽しそうな笑顔が私たちの活動の源になっています。」と話していました。

読み聞かせに対する思いを何うと、「以前は『読み聞かせがもつとたくさんの人に広がってほしい』『読み聞かせのグループがもつと増えてほしい』と思っていましたが、最近は、私たちが元気なうちは、若い世代への架け橋になればいいかなと思うようになりました。今、子育てなどで忙しいお母さんたちが肩の力を抜けるようになったときに、『そういえば、読み聞かせという形で、私たちに向き合ってくれていた人がいたな』と思い出してもえたらいいなと思っています。」と話していました。

おはなし「ぶらんこ」の皆さんから

長く活動していますが、メンバーはもちろんですが、地域の皆さまの協力によって活動することができています。今後も読み聞かせを通して、たくさんの人に「人生っていいものだよ」ということを伝えられたらいいなと思います。

なお、新規メンバーを随時募集していますが、今は勉強会を定期的に行っていますが、実施していませんので、加入を考えている方はご相談ください。

※各団体加入についてのお問い合わせは、町立図書館 ☎296-15660まで